

「ENEOS防災週間」における取り組みについて

各位

当社(社長:西尾 進路)は昨年に引き続き、9月19日(金)から9月26日(金)を「ENEOS防災週間」に設定し、同週間における本年度の活動を下記のとおり実施しましたのでお知らせいたします。

大地震などの災害時において、企業は事業の円滑な継続、また速やかな復旧により、被災地域の復興に貢献することが求められます。当社では、毎年防災に関する訓練を行うことで、社員の防災に関する意識の向上と知識の修得を図り、企業の社会的責任を果たすべく、大規模災害発生時にも国民生活・経済に必要な石油製品等の供給を担えるよう体制を整備しています。

なお、当社は石油をライフラインと位置づけ、震災による停電時にも給油の継続が可能な「Dr. Drive震災時給油可能SS」※についても展開を進めております。

※2006年度からDr. Drive店を対象に、震災による停電時にも給油の継続が可能となるよう「緊急用発電機」および「緊急用可搬式ポンプ」の配備を進めています。今年末には約750店まで拡大する予定です。

記

1. 「ENEOS防災週間」の活動

(1) 首都直下地震を想定した初動対応訓練

1) 日時: 9月26日(金) 13:30~15:00

2) 内容:

9月26日(金) 13:10、最大震度6強の首都圏直下型地震が発生し、製油所火災、油槽所油漏洩、一般電話回線の不通といった想定のもと、当社副社長・佐谷 信を対策本部長とする「災害対策本部 初動対応訓練」を実施しました。この訓練では、本社・首都圏各現業所(東京、関東第1・2・3各支店、根岸製油所および市川油槽所)に加え、バックアップオフィスとして東北支店も参加し、初動体制の確認および本社・各現業所間の報告・連絡体制を確認しました。また、社員の安否確認訓練も併せて実施しました。

(参加者総勢約190名)



報告を受ける佐谷 信・災害対策本部長
(写真右から3人目)



情報収集を実施する災害対策本部長

(2) 防災備品・非常物資説明会

1) 日時: 9月24日(水) 15:00~17:00

2) 内容:

発災時の被災者対応や帰宅困難時の会社待機に備え、防災備品を確認するとともに、非常食の調理方法の説明および試食会を実施しました。

(参加者約90名)



災害救助用品の説明



非常食の試食会

(3) 応急救護訓練

1) 日時: 9月25日(木) 13:00~15:00

2) 内容:

東京消防庁芝消防署および芝消防団による心肺蘇生法およびAED(自動対外式除細動器)の使用方法等に関する実技講習会を実施しました。

(参加者約80名)



胸骨圧迫(心臓マッサージ)



AED(自動対外式除細動器)の使用訓練

2. その他の活動

(1) 川崎市の総合防災訓練の参加

1) 日時: 8月31日(日)

2) 内容:

川崎市が実施した総合防災訓練に参加し、市職員およびNGOピースウインズ・ジャパンと共同で、当社が所有するバルーンシェルターの伸展訓練を行いました。



伸展後のバルーンシェルター



バルーンシェルター内で開催された
応急救護訓練

以上